



19平地第 154号
平成19年4月27日

国土交通省道路局長

東北地方整備局

郡山国道事務所長 様

福島県平田村長
二瓶清美



中期的な計画の作成にあたっての意見書の提出について

先にご依頼のあった上記の件について、別紙意見書を退出いたします。

平成19年4月27日

国土交通省道路局長

郡山国道事務所長 様

福島県平田村長
二瓶清美



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について

(意見)

当地方は、高速交通網の整備が進む中、特に地域振興を支える1つである「地域高規格道 あぶくま高原道路」の整備は全線開通も間近になり、今後益々広域的な交流による地域の活性化が期待される地域であります。

しかし、少子高齢化や過疎化の進行など地域環境は大きく変化しており、地域と行政が連携し各種施策の展開が必要であります。

そこで、各種施策の展開にあたり、単独自治体の財政は非常に厳しい状況にあることから、国・県の支援を受け「地域づくり事業」の推進を図ることが必要であります。

(具体的な意見)

1. 地域重点化手法

地域高規格道路(あぶくま高原道路)を軸とした道路ネットワーク整備を図ることが重要であると考えます。

このことは、本地方における高度医療施設へのアクセスの改善、或いは、商業圏への買い物ルートの確立、都市文化との交流が可能となり、地方への若者定住、強いては地域の経済活性・地域振興が図られるものであります。

2. 効率化を進める上で重視すべきこと

社会資本である既存施設の長寿命化対策を進める上で、国における補助制度の充実が必要であります。

3. 高齢化社会に対応できる道路の整備

益々高齢者の社会参加が求められる現状社会の中では、安全・安心の確保が急務と考えます。地方道における、自歩道等の整備促進・交通安全施設の設置事業等の拡大が求められます。